林山、高梨、鈴木、塩田、前田、

別室に委員会開催して原案を作成す。

但し九州聯合会の諸氏が夜遅く着京の為決定を翌日に延期す。

拾二月拾八日　午前拾七時半開会

出席、前日出席者全員の外九州聯合会より

中央委員　今井、組合代表、光吉、森、赤城、宮本、宮崎、八幡、

堤、田実、原田、

一、五党合同に対する組合同盟の態度を議題とし討論の結果左の如く決定、

我が日本労働組合同盟はその結成以来、日本労農党を支持し全無産階級政

政治戦線統一の為に終始一貫闘争を続け来った　それ故に我々は全無産階級政

治戦線統一の端緒となる五党合同に関しては常に戦線統一の障害となり来たる宗

派分裂主義をそれ自体の性質上多分に含む傾向ありとせられる無産大衆党に反対

の態度を持し来った。併しながら我々は全階級的政治戦線統一の端緒となるべき

五党合同に際し吾々の任務と役割の将来益々重要なることを感ずるが故に之に積

極的に参加せねばならぬ。かくて今や我々に課せられたる重要任務は五党合同をして我国の

将来の目的たるべき宗派分裂主義排除の態度には何等の変更を見るべきものでなく、その為には之が障害と

労働組合同盟は今回の五党合同に参加するに当り我等の態度を明白にするものである。

一、党中央委員会、臨時大会に対する態度、

組合同盟側の中央委員並に代議員が党の中央委員会並に党大会に於ては党員としての立場から意見

を述べる迄の限り組合同盟の立場を反映して貰ふこと。

一、政党と組合との関係につき、懇談（今後組合と党とは別個の立場に立って運動すること　以上

財團法人　協調會

国　3.12.27　559

日本労働組合同盟第四回拡大中央委員会

昭和三年十二月　来賓